

# 高知追手前高校

## 避難所運営マニュアル

この避難所のある場所は、南海トラフ地震発災時における想定で、最大1m～2mの津波浸水が見込まれています。

津波のおそれがある場合は、東門から入り、新館1階入口のキーボックスの中にある鍵で新館玄関のドアを解錠し、4階へ避難して、まずは、ご自身の命を守ってください。

津波警報が解除された後で、このマニュアルに沿って、体育館で避難所開設に向けた準備を始めます。



★この避難所運営マニュアルは、万能ではありません。

災害の大きさ、避難の状況、時間の経過に応じて、避難所の運営内容も変化するものと考えます。

揺れや津波から命を守った後、避難者の皆さんで、このマニュアルを参考に協力し、助け合い、安全に運営していきましょう。



はりまや橋小学校区防災連合会

高知市

令和2年12月作成

令和6年10月改訂

# 【指示書】避難されてきた皆さんへ

避難者は新館4階 廊下・教室（浸水あり）/体育館前の屋外（浸水なし）で待機します。

- 安全な場所で待機してください。状況に応じて、待機場所を変更してください。傷病者や体調不良者がいる場合は別途対応が必要です（すでに施設内に避難している人がいる場合は、再度案内をしましょう）。
- 避難所の開設には、皆さん一人ひとりの協力が必要です。
- 皆さんで助け合って、必要な作業を分担し、避難所の開設を進めてください。
- 高知市では、一般避難所で受け入れた要配慮者のスクリーニングを、原則、市職員が行い、必要な場合には、福祉避難所などに移送します。  
※要配慮者とは、高齢者、障害者、乳幼児など特に配慮を要する方のこと



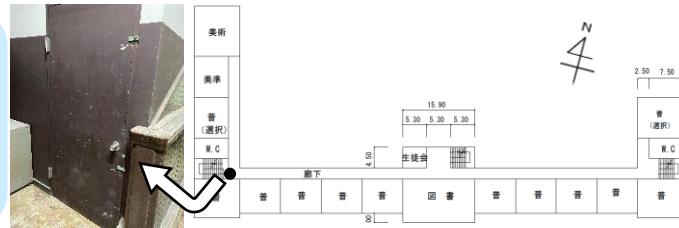
これから避難所の開設を始めます。



1

マニュアルを取り出します。

本館3階西側階段から  
マニュアルを取り出します。



2

リーダーと副リーダー（リーダーの補助役）  
を決めましょう。

リーダーも避難者の一人で、専門家ではありません。  
避難者全員で助け合って、作業を進めます。

○リーダーになったあなたは・・・マニュアルを手に取り、「リーダーカード」を確認し指示を出してください。周囲の協力を募り、落ち着いて行動しましょう（事前に決めていたリーダー候補者が来れば交代することもできます）。

○副リーダーになったあなたは・・・リーダーの補助を行います。リーダーは本部で全体を統括する必要があるため、その間、リーダーと各チーム長をつなぎ、指示系統や情報伝達に混乱が生じないよう常に情報、状況の共有を図ってください。

# 目 次

## 避難所運営の流れ

### 1 避難所を開設するための準備

- 1 避難所を開設するための準備 **リーダーカード**
  - 1-1 避難所の安全確認
  - 1-2 受付の設置
  - 1-3 避難所の区割り
  - 1-4 トイレの確保

### 2 避難者の受入れ

- 2 避難者の受入れ **リーダーカード**
  - 2-1 避難者の受付
  - 2-2 居住スペースへの誘導
  - 2-3 トイレの巡回確認
  - 2-4 傷病者の把握・応急対応
  - 2-5 要配慮者の把握・生活支援
  - 2-6 ペットの受入れ
  - 2-7 食料・物資の配給
  - 2-8 被災者への情報伝達
  - 2-9 災害対策本部との連絡

### 3 避難所の運営

- 3 避難所の運営
  - 3-1 避難所運営委員会の設置
  - 3-2 活動内容
  - 3-3 避難所のルール

### 4 基本情報

- 4 基本情報

# 避難所運営の流れ ①

避難所へ集まつた人

避難者に  
新館4階 廊下・教室（浸水あり）  
体育館前の屋外（浸水なし）  
で待機をお願いします。

本館3階  
西側階段から  
マニュアルを  
入手します。

リーダーを  
決めます。

リーダーがチーム長を決め、「避難所を開設するための準備」のカードを各チーム長に渡し、作業を指示します。

## 1-1 避難所の安全確認

→避難所として使用可能か確認します。



使用可能

ほかの  
避難所へ



使用可能

## 1-2 受付の設置

受付設置チーム



→受付を設置します。



避難者カード  
などを  
準備する。

## 1-3 避難所の区割り

区割りチーム



→避難所の区割りを行います。

## 配置計画図（例）



## 簡易トイレ設置イメージ



移行

避難所開設の準備が整ったら、避難者の受入れに移行します。

→次のページ参照

# 避難所運営の流れ ②

2  
避難者の受入れ

リーダー



《役割について》

## 避難者の受入れ

《内容》

### 2-1 避難者の受付

避難者の受付を行います。

### 2-2 居住スペースへの誘導

避難者を居住スペースまで誘導します。

### 2-3 トイレの巡回確認

トイレが適切に使用されているか、巡回し確認します。

### 2-4 傷病者の把握・応急対策

救護スペースの設置、傷病者の把握、緊急搬送の要請を行います。

### 2-5 要配慮者の把握・生活支援

要配慮者を把握して、要配慮者スペースに誘導し、共助でできる範囲で生活支援を行います。

### 2-6 ペットの受入れ

ペットスペースの設置、ペット同行避難者を把握します。

### 2-7 食料・物資の配給

食料や物資などの配給を行います。

### 2-8 被災者への情報伝達

避難者に対して、情報伝達を行います。

### 2-9 災害対策本部との連絡

災害対策本部と連絡を取ります。

3  
避難所の運営

リーダーは状況を見て、避難所運営委員会による運営に移行させます。

3-1 避難所運営委員会の設置

3-2 活動内容（班ごとの役割やスケジュール）

3-3 避難所のルール

撤収

閉鎖に向けた動き

# 要配慮者の受け入れおよび福祉避難所などへのスクリーニングと移送の流れ



要配慮者  
本人  
またその家族

要配慮者用の受付に並ぶ。

- ・避難者名簿に記入する。
- ・避難者カードを受け取り、記入する。

誘導チームの聞き取り調査に答える。



家族と避難所運営スタッフが協力し、生活支援を行う。

避難所運営  
スタッフ

要配慮者とその家族の方を、要配慮者用の受付に誘導する。

(2-1 受付チーム)

「聞き取りシート」に基づき、聞き取りを行い、居住スペースへ誘導する。

(2-2 誘導チーム)



市職員など

## 判断基準（例）

### ■病院

治療が必要な方  
…発熱・下痢・嘔吐など

### ■福祉避難所

日常生活に全介助が必要な方  
…食事や排せつ、移動が一人でできないなど

※参考

「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」（内閣府・R3改定）

## 福祉避難所などへの移送が必要と考えられる場合



スクリーニングの結果によって、福祉避難所や医療機関へ移動する。

災害対策本部に、「スクリーニング要請」を行う。

(2-9 総務チーム)



### スクリーニングとは

被災者の状況に応じて、適切な避難所または医療機関への移送を判断することです。



市職員などが要配慮者のスクリーニングを行う。

移送は、①家族、②支援者・ボランティア、③行政職員、④福祉避難所施設職員が行う。



※①～④で対応できない場合は、その都度協議を行う。